

発泡ウレタンの張り出し成形性試験

断熱材や防音材などに使用する発泡ウレタンのプレス成形性を評価いたします。

技術の特徴

- 金属材料の成形性を評価する成形性試験機を用いて、発泡ウレタンの成形性を評価いたします。
- 単純な引張試験ではなく、実際の製品形状に近い張り出し試験にて成形性を評価いたします。

評価対象材の例

- 自動車のルーフなどの内装用に成形する発泡ウレタン
- 建物の内装で断熱・防音などに使用する発泡ウレタン

主な試験仕様

- 評価対象材の寸法：厚さ 1~15mm、面積 100mm×100mm相当
- 最大張り出し高さ：50mm
- 最大荷重：500kN
- 試験温度：室温

評価事例

張り出し試験方法の概要

(評価対象材：硬質発泡ウレタンシート 10mmT×100mmW×100mmL)

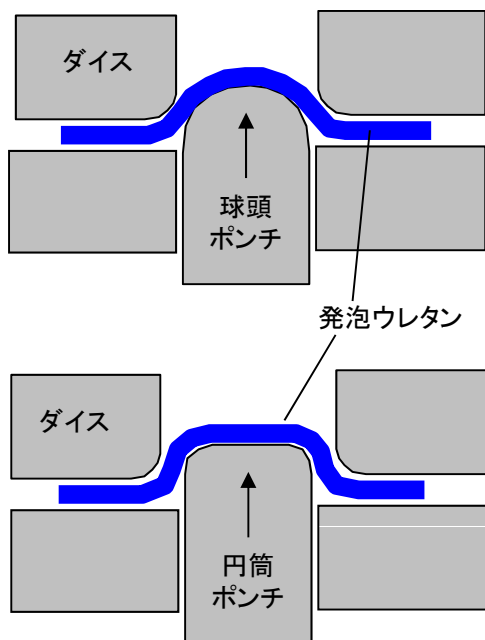


図1 張り出し試験方法

張り出し試験の成形性評価事例

- ウレタンの加湿による成形性の変化を割れ発生時の成形高さで評価できます。
- その他、ウレタンの物性の違いによる成形性の変化を同様に評価できます。

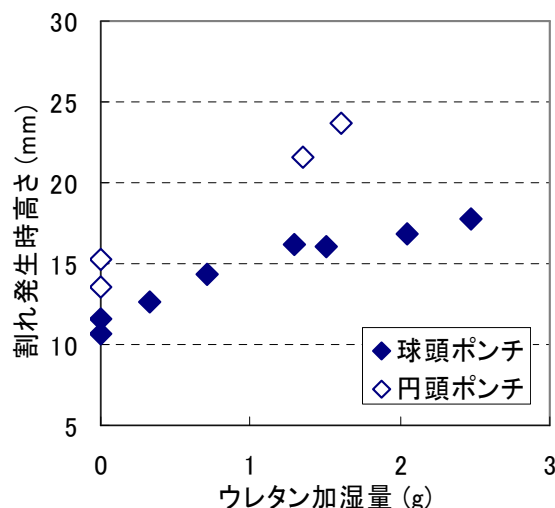


図2 成形高さ評価結果